

LIXIL アーキキャストフェンス

— ポーチ取付仕様 —

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれがある場所へは施工しないでください。
- 本製品は、戸建住宅の玄関ポーチなどの屋外通路への設置を目的にしています。
- 設置高さの上限は、フェンス外側の G.L. から 1m 以内にしてください。使用用途、設置環境に応じて事故の危険がない設置高さとしてください。
- 柱は、コンクリート施工された玄関ポーチに施工してください。ブロック上への施工はできません。


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
- 上面ベース施工用柱、側面ベース施工用柱の施工では、市販のグリップアンカー専用ハンドホルダーM8用を別途準備してください。
- 上面ベース施工用柱の施工では、床面深さが 150mm 以上、側面ベース施工用柱の施工では、取付壁面のコンクリートの厚さが 150mm 以上あることを前もって確認してください。150mm 未満ではアンカーに必要な強度が保てません。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ボルト・ネジ類は弊社純正品の規定本数を確実に締め付け、固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 湿気が多い場所やコンクリート基礎内でアルミ製品が鉄やステンレス・銅などと接触する場合は、腐食が進行するおそれがありますので絶縁テープか塗装で、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 柱の切断・穴あけ加工を行う場合は、金属用の工具を使用してください。


<基礎工事について>

⚠ 注意


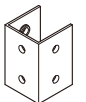
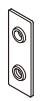
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。
- 埋込施工用柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水が溜まらないようにしてください。
- 埋込施工用柱を設置する場合は、必ず水抜き穴をあけてください。

■梱包明細表


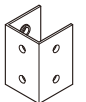
【1】埋込施工用柱（主柱・コーナー柱兼用）

名称	略図	員数
50角柱（埋込施工用） 主柱・コーナー柱兼用		1


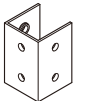
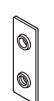
【2】上面ベース施工用柱

名称	略図	員数
50角柱（上面ベース施工用） 主柱		1
ベースプレート補強材		1
ベースプレート裏板		1

【3】側面ベース施工用柱

名称	略図	員数
50角柱（側面ベース施工用） 主柱		1
ベースプレート補強材		1

【4】上面ベース施工用コーナー柱

名称	略図	員数
50角柱（上面ベース施工用） コーナー柱		1
ベースプレート補強材		1
ベースプレート裏板		1

■ 梱包明細表(つづき)

【5】アーキキャストフェンス

名 称	略 図	員 数		
		FT型	FK型	FY型
アーキキャストフェンス W200 FT型		1	—	—
アーキキャストフェンス W200 FK型		—	1	—
アーキキャストフェンス W200 FY型		—	—	1
アーキキャストフェンス W900 FT型		1	—	—
アーキキャストフェンス W900 FK型		—	1	—
アーキキャストフェンス W900 FY型		—	—	1

【6】上面ベースプレート

名 称	略 図	員 数	
		上面 ベース プレート	上面ベース プレート (コーナー用)
上面ベースプレート		2	—
上面ベースプレート (コーナー用)		—	1
上面ベースプレートカバー		2	—
上面ベースプレートカバー (コーナー用)		—	1
レベル調整板		4	4
【6-1】M8グリップアンカー		4	4
【6-2】M8×30十字穴付 六角ボルトWセムス		10	10
【6-3】φ4×10 サラタツピンネジ3種 D=6		4	2

【7】側面ベースプレート

名 称	略 図	員 数
側面ベースプレート		1
【7-1】M8グリップアンカー		4
【7-2】M8×30十字穴付六角ボルトWセムス		10

【8】フェンス固定金具

名 称	略 図	員 数	
		片持ち施工用	両柱施工用
フェンス固定金具(片持ち施工用)		4	—
フェンス固定金具(両柱施工用)		—	4
フェンス固定金具カバー		4	—
フェンス注意シール		1	1

■ 梱包明細表 (つづき)

【8】フェンス固定金具 (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		片持ち施工用	両柱施工用
【8-1】M5×10トラス小ネジ		8	—
【8-2】φ5×8ナベタッピンネジ3種		—	8
【8-3】φ5×12ナベタッピンネジ3種		8	—
【8-4】M5バネ座金		8	—
【8-5】M5×12止めネジ(ゆるみ止め剤付き)		4	4
【8-6】M5×16トラス小ネジ		—	4
取付説明書(C417)	—	1	1
取扱説明書(UC009)	—	1	1

【9】柱カバー

オプション

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2
【9-1】φ4×10サラタッピンネジ3種 D=6		4

【10】フェンス切詰め端部カバー

オプション

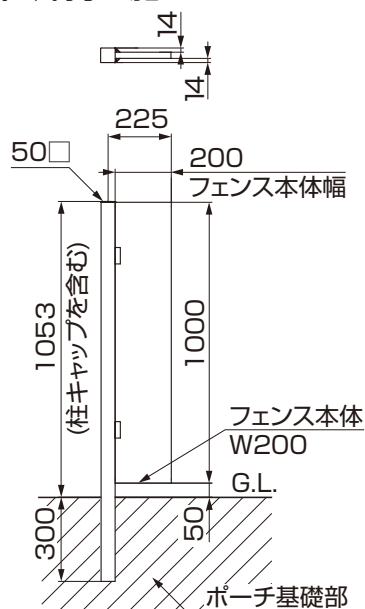
名 称	略 図	員 数
フェンス切詰め端部カバー		1
フェンス切詰め端部カバーキャップ		2
【10-1】φ4×10薄平タッピンネジ3種 ※1		13
【10-2】φ4×13ナベドリルネジ		4

※1 アーキキャストフェンスW900 FY型以外を切詰める際は9個余ります。

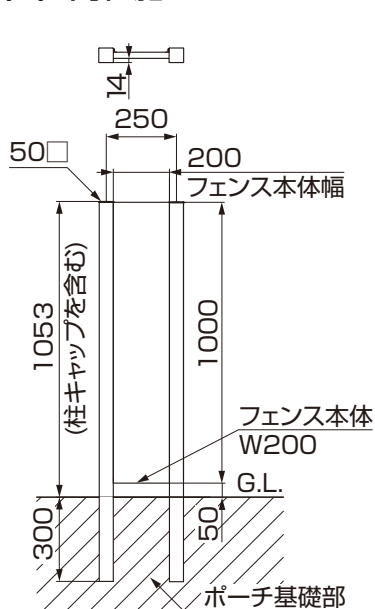
1. 基本寸法と各部名称

1-1 埋込仕様

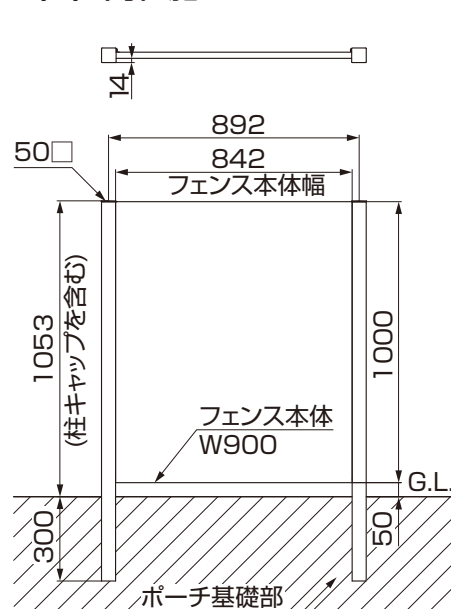
(1) 片持ち施工W200



(2) 両柱施工W200



(3) 両柱施工W900

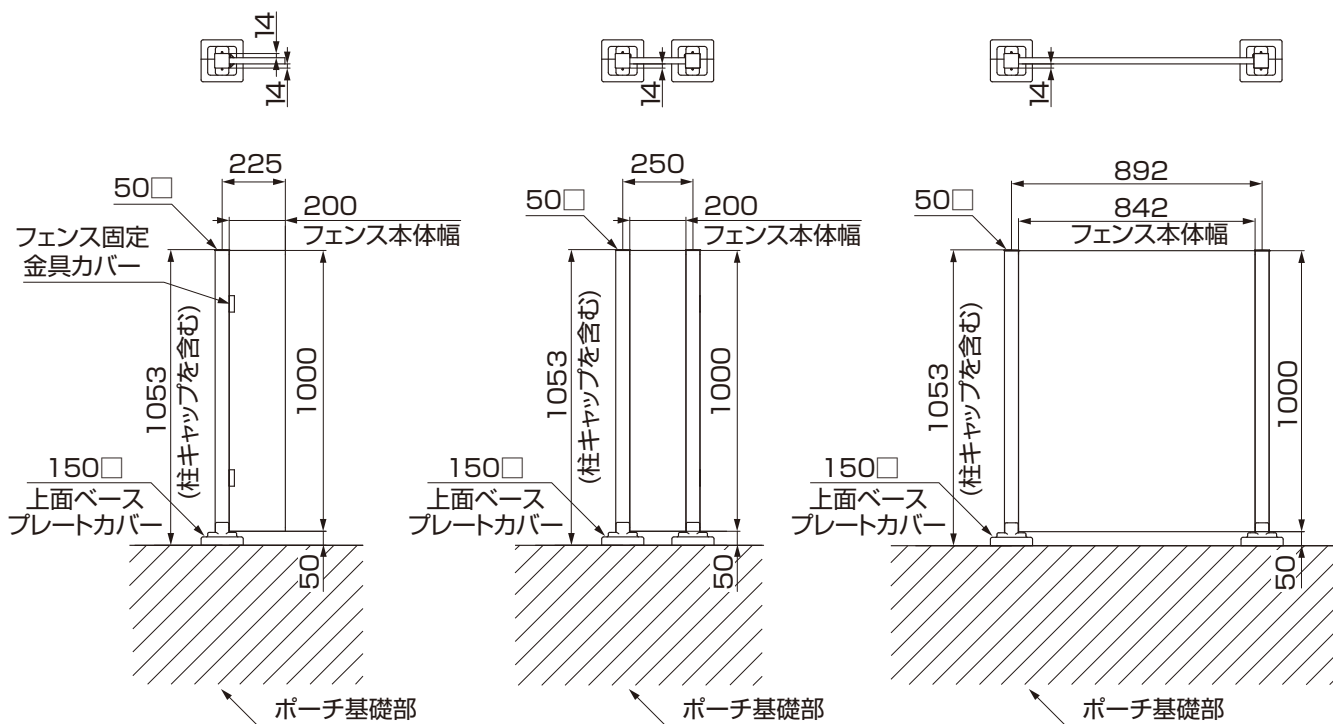


1-2 上面ベースプレート仕様

(1) 片持ち施工W200

(2) 両柱施工W200

(3) 両柱施工W900

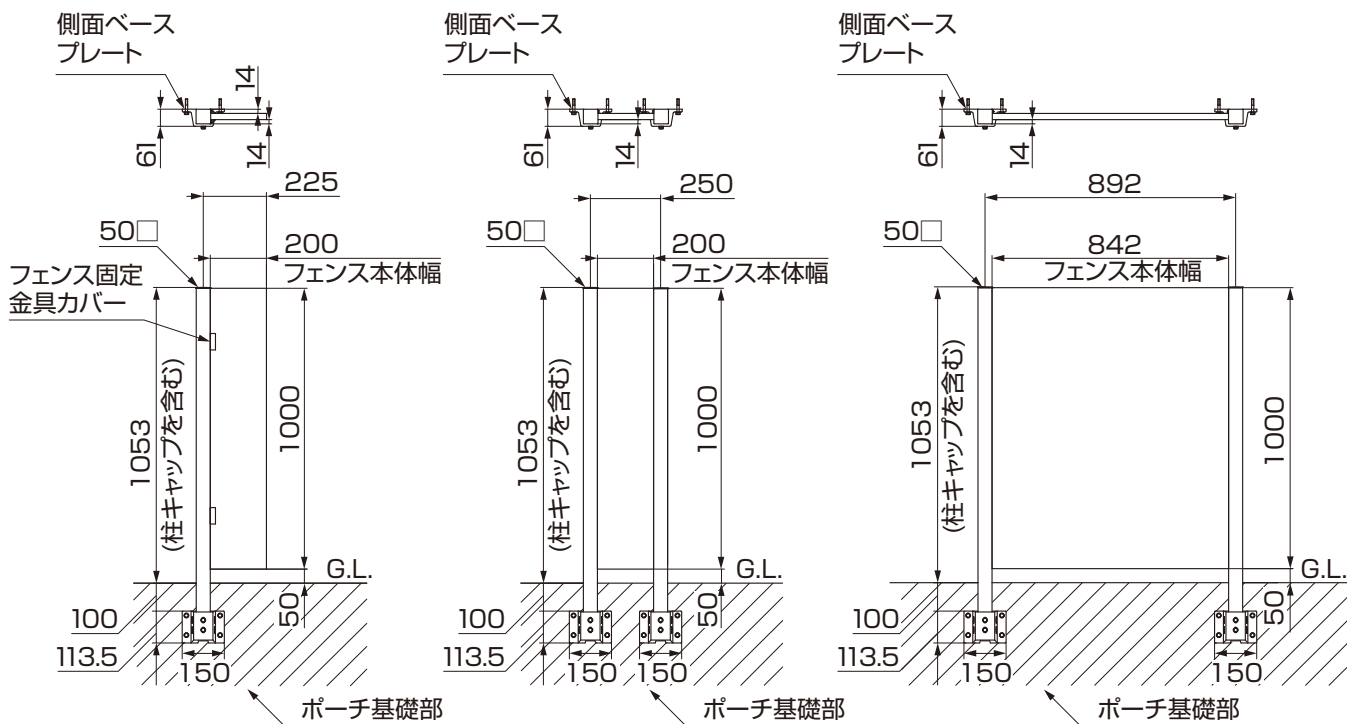


1-3 側面ベースプレート仕様

(1) 片持ち施工W200

(2) 両柱施工W200

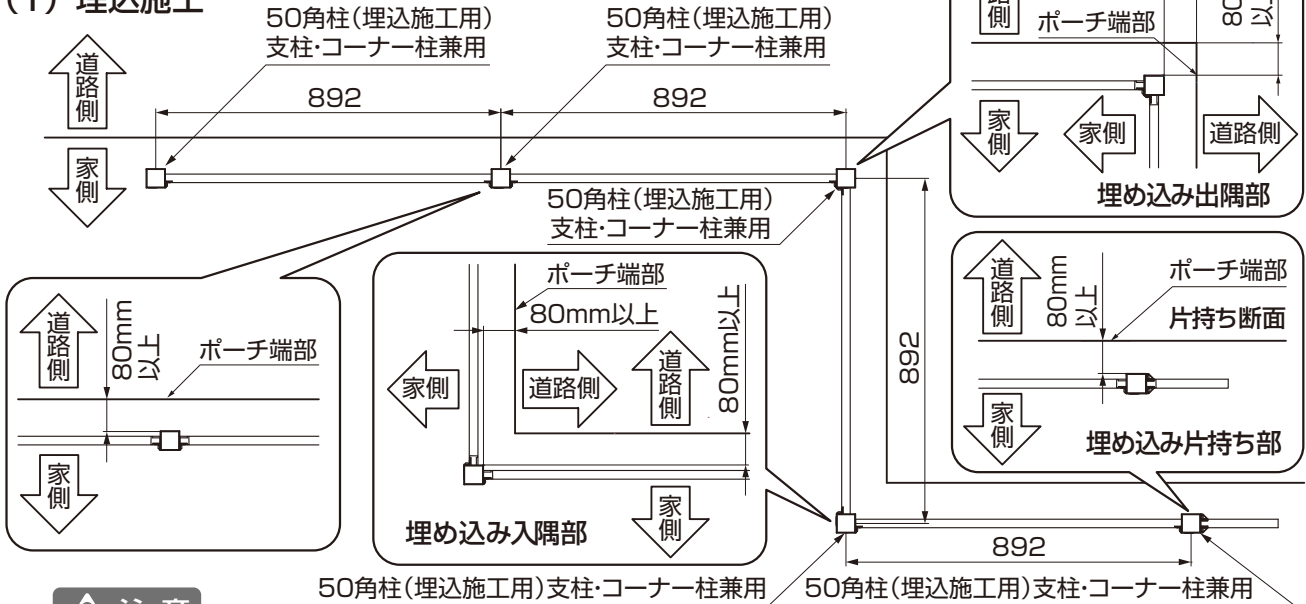
(3) 両柱施工W900



1. (つづき)

1-4 施工例

(1) 埋込施工



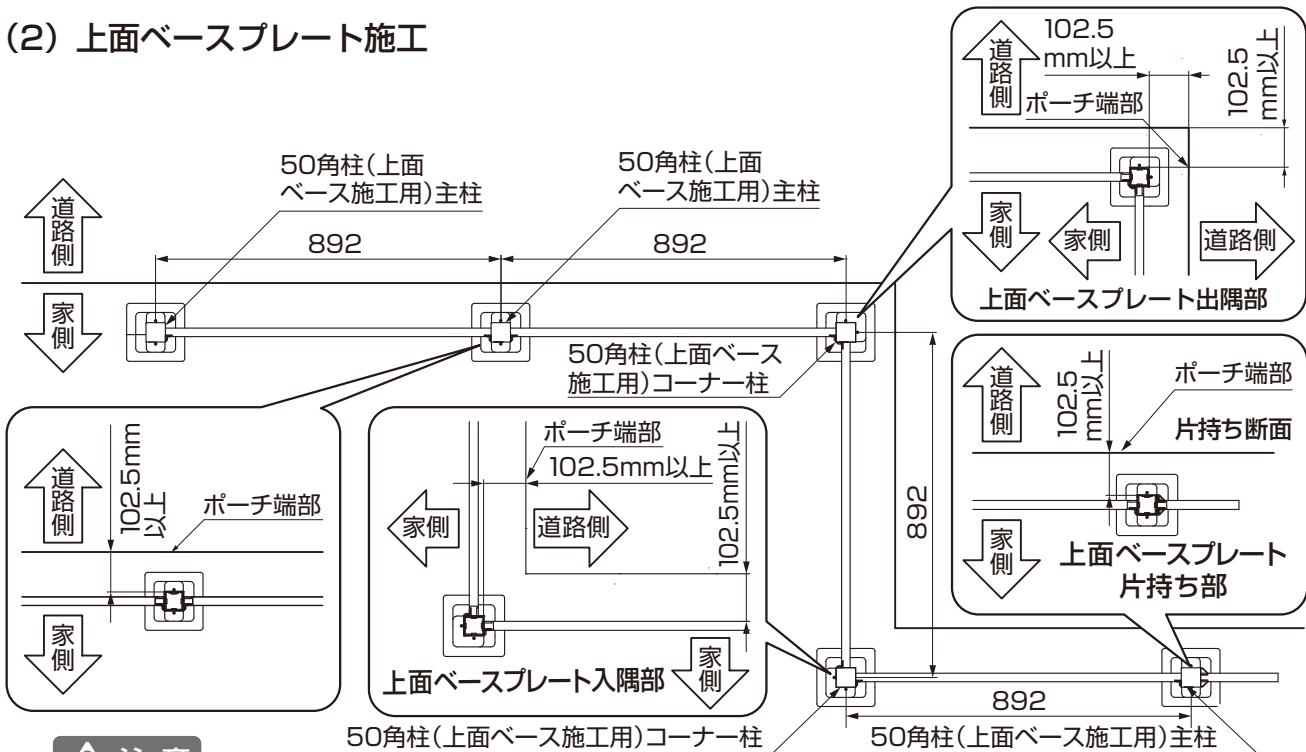
注意

●柱はポーチ端部より80mm以上離して設置してください。柱が倒れ事故につながるおそれがあります。

ポイント

●門扉と組み合わせる場合、吊元門柱及び受け門柱をコーナー柱にすることはできません。(図1-1参照)

(2) 上面ベースプレート施工



注意

●柱はポーチ端部から102.5mm以上内側に取付けてください。柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。

ポイント

●門扉と組み合わせる場合、吊元門柱及び受け門柱をコーナー柱にすることはできません。(図1-1参照)

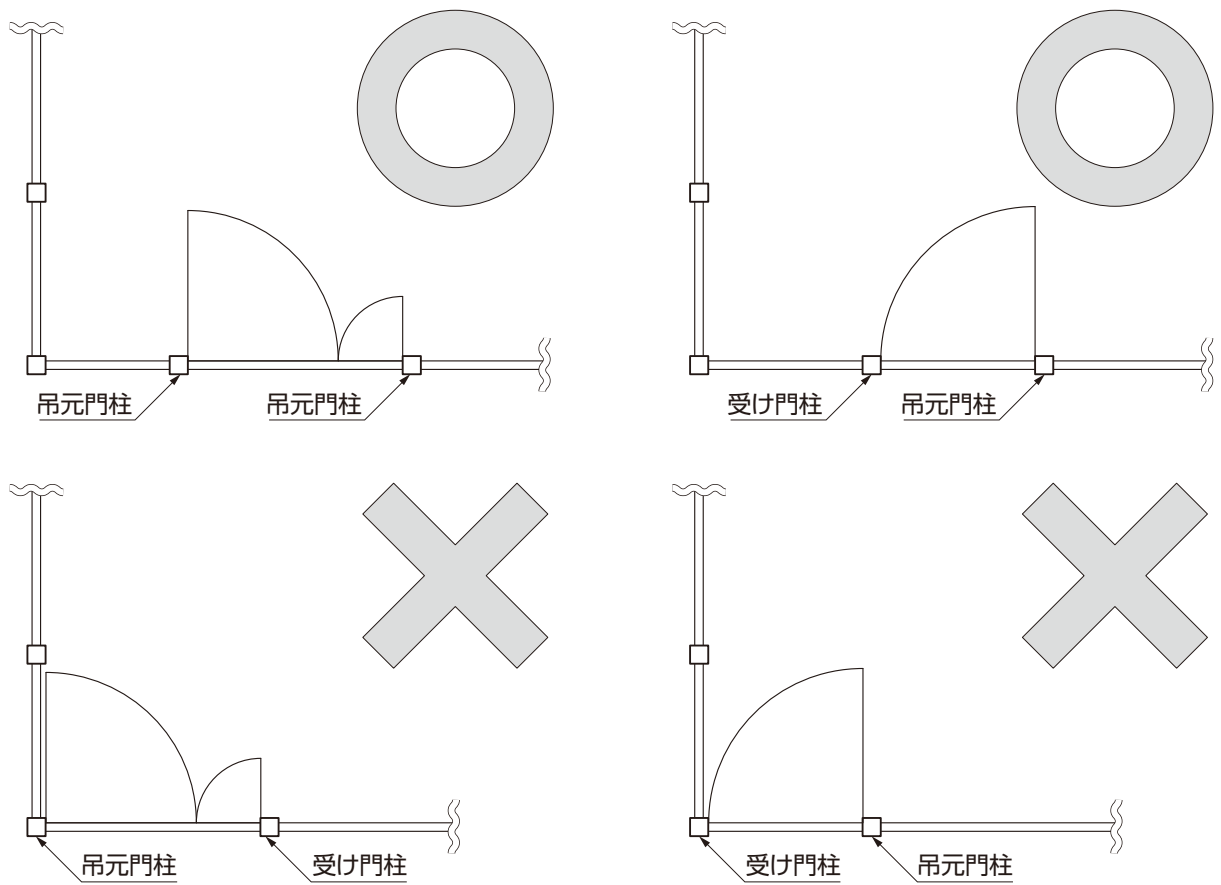


図1-1

(3) 側面ベースプレート施工

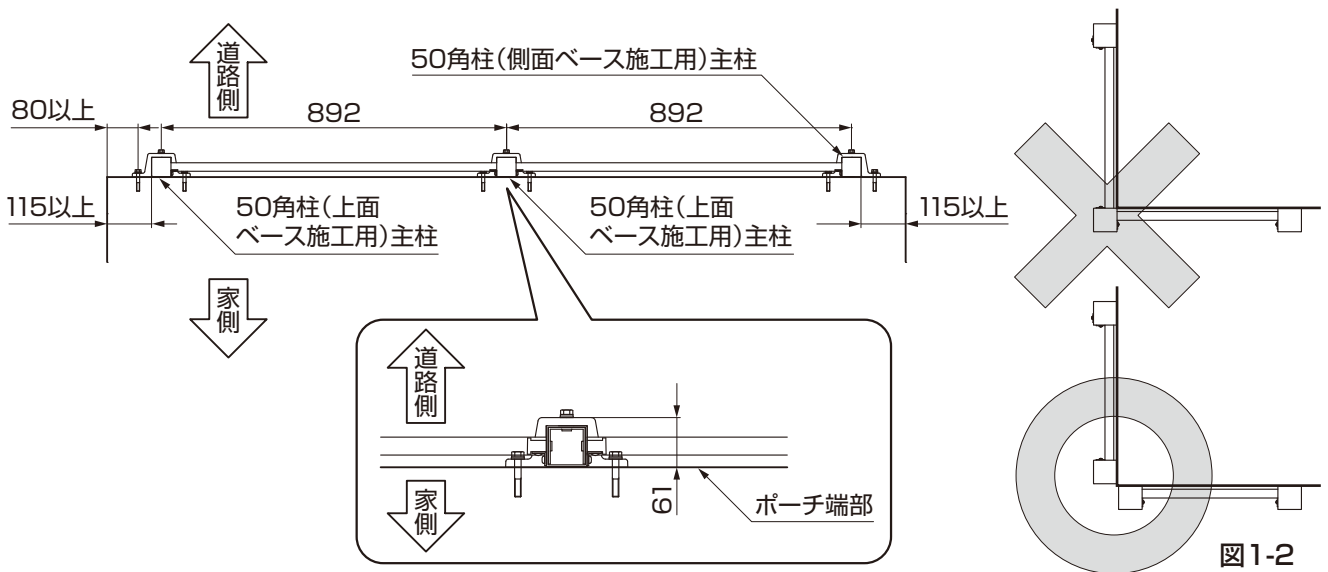


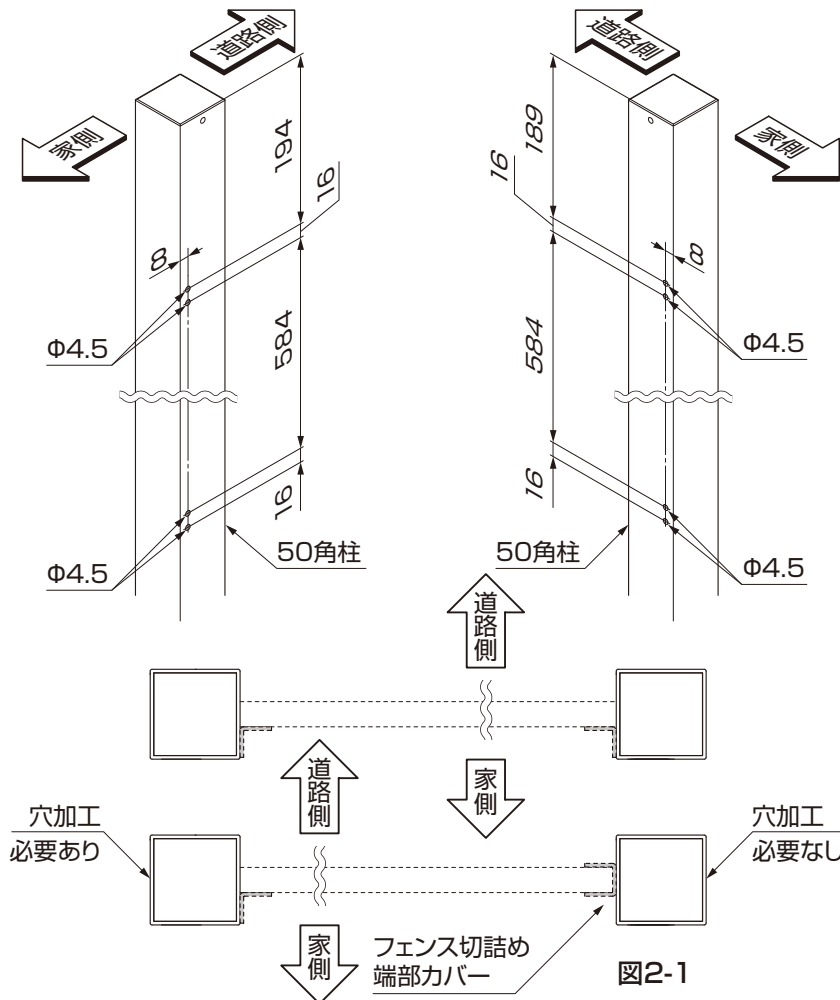
図1-2

ポイント

- 側面ベース用柱のコーナー部への取付けはできません。(図1-2参照)

2. フェンス固定金具の穴加工

2-1 フェンス固定金具穴位置（両柱施工）

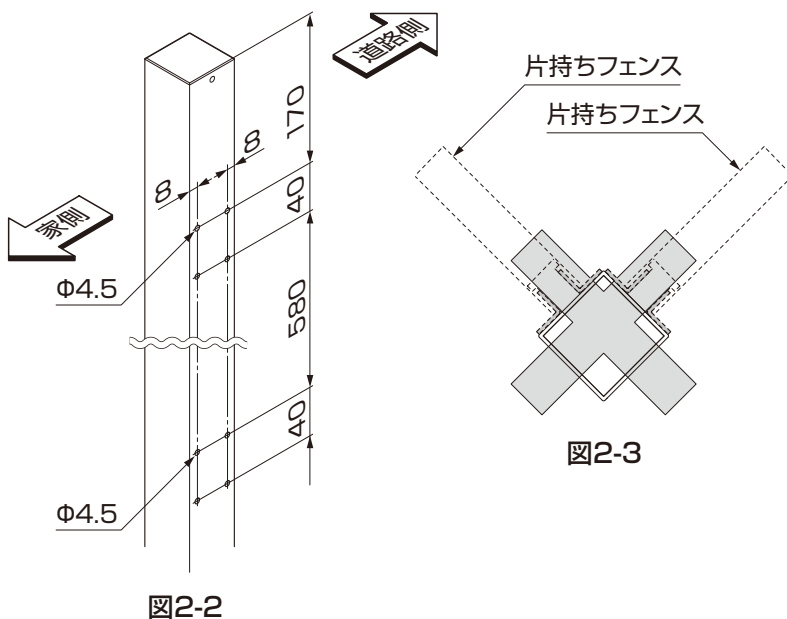


- ①「1-4 施工例」を参照し、50角柱にフェンスを取付ける面を決めてください。
- ②ドリルでφ4.5の下穴をあけてください。（図2-1、図2-2参照）

ポイント

- フェンスを取付ける50角柱の面に加工をしてください。
- 50角吊元門柱にフェンスを取付ける際は、M5のタップ穴を切ってください。
- フェンス切詰め端部カバーを取付ける面には穴加工が必要ありませんが反対側の50角柱には穴加工が必要です。（図2-1参照）
- 50角吊元門柱にフェンス切詰め端部カバーを取付けることができません。

2-2 フェンス固定金具取付位置（片持ち施工）



- ①「1-4 施工例」を参照し、50角柱にフェンスを取付ける面を決めてください。
- ②ドリルでφ4.5の下穴をあけてください。（図2-2参照）

ポイント

- 50角吊元門柱にフェンスを取付ける際は、M5のタップ穴を切ってください。
- 片持ちフェンス同士のコーナー部施工はできません。（図2-3参照）

3. 埋込施工用柱の取付け

※図中のH・Wは「1. 基本寸法と各部名称」を参照してください。

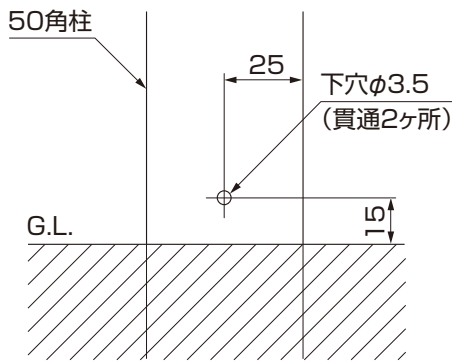
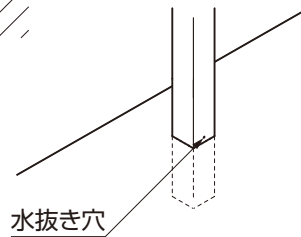


図3-1



①各柱を「1-4 施工例」に従いコンクリートで固定してください。

ポイント

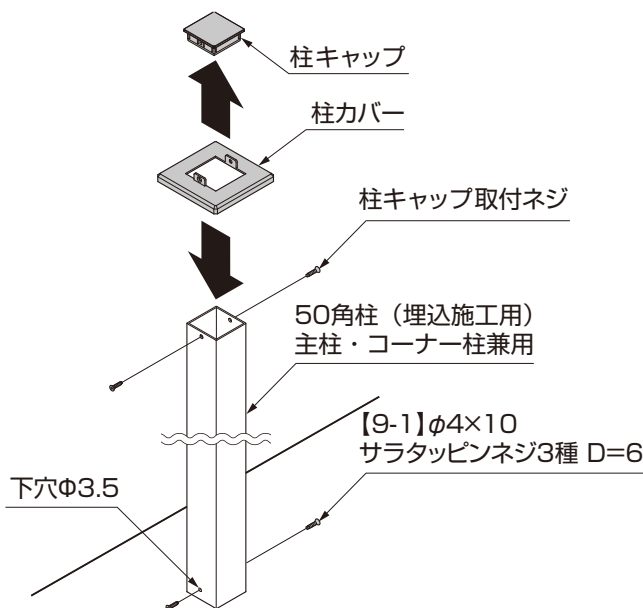
- 50角柱は、垂直を出してから固定してください。垂直がでない場合、フェンス本体が取付かないおそれがあります。
- G.L.面より5mm程度上部にφ5の水抜き穴を必ずあけてください。

補足

- 柱カバーを取付ける場合は、埋込前にG.L.面より15mmの位置にφ3.5の下穴をあけておいてください。(図3-1参照)

4. 柱カバーの取付け

オプション



- ①柱キャップを取外してください。
- ②柱カバーを50角柱に通してください。
- ③柱カバーを50角柱に、【9-1】で取付けてください。
- ④柱キャップを取外した手順とは逆に取付けてください。

ポイント

- 柱カバーの固定は、コンクリートが固まったあとに行ってください。

5. 上面ベースプレート施工用柱の取付け

5-1 アンカーの打ち込み

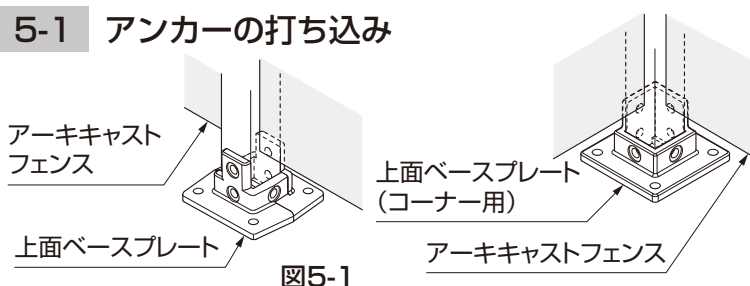


図5-1

①「1.基本寸法と各部名称」と図5-1、図5-2を参照し、フェンスの取付位置を確認しながら、ベースプレートを設置する位置をきめてください。

ポイント

- ベースプレートの加工穴が1つしかない面にフェンスを取付けるようにベースプレートの設置する方向を決めてください。

5-1 (つづき)

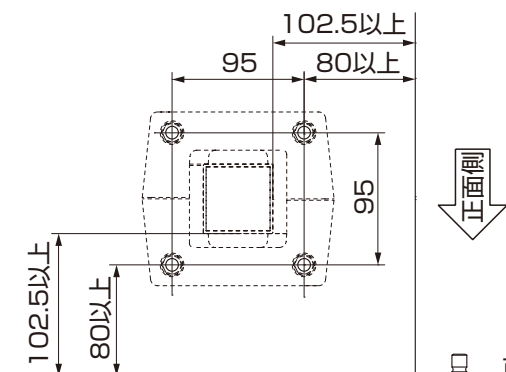


図5-2

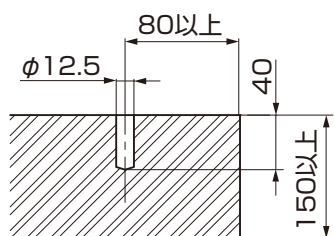


図5-3

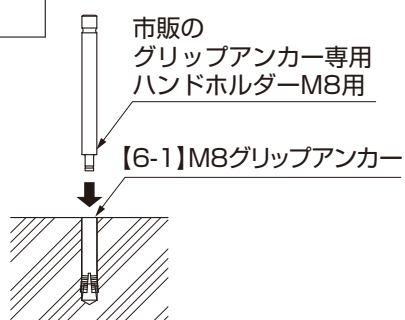


図5-4

⚠ 注意

● 上面ベースプレートに対応する面は、水平かつ平らな状態の場所に限りま。それ以外の場合、強度不足やガタツキが生じて危険です。

② 図5-2、図5-3を参照して、基礎部に必要な深さの穴をあけてください。

⚠ 注意

● 下記の寸法が得られない場合には、強度不足やガタツキが生じ柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。

● 床面深さが150mm以上あること、アンカーの穴がポーチの端部から80mm以上あることを確認してください。(図5-2、図5-3参照)

③ 穴内の切粉を取り除いてください。

🔧 補足

● 吸塵器またはダストポンプを使用すると切粉を容易に取り除くことができます。

④ [6-1]を軽く叩いて挿入し、市販のグリップアンカー専用ハンドホルダーを使用して、手ごたえが変わるまでハンマーで打ち込んでください。(図5-4参照)

5-2 柱の設置

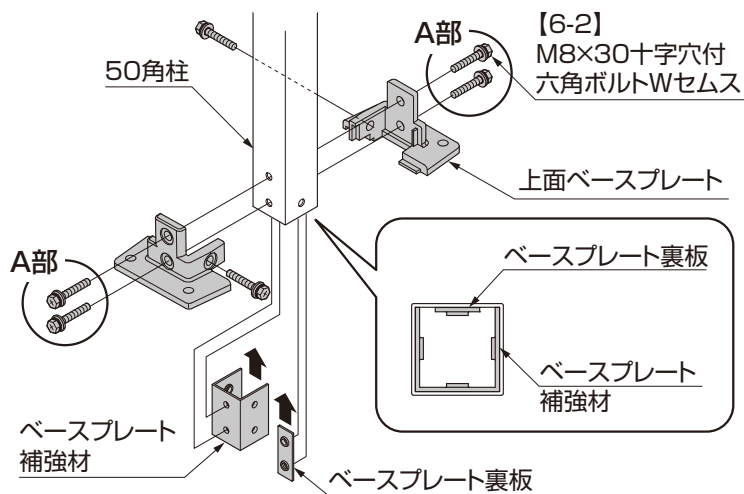


図5-5

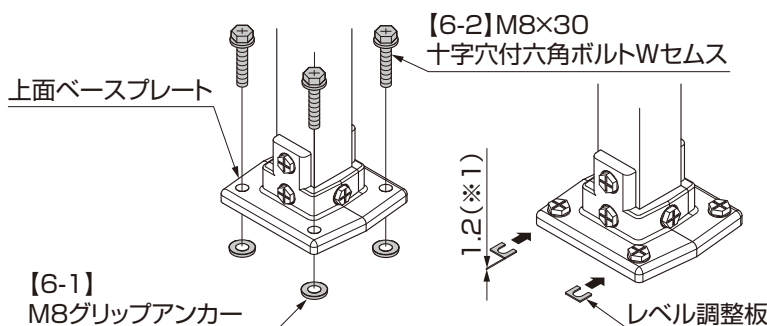


図5-6

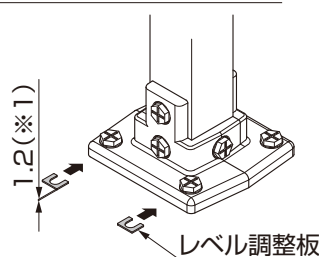


図5-7

🔑 ポイント

● A部の[6-2]から先に固定してください。

② [6-2]で上面ベースプレートを[6-1]に取付けてください。(図5-6参照)

③ 1.2mmのレベル調整板(※1)を上面ベースプレートと[6-1]の間に挿入して、水平・垂直を出してください。(図5-7参照)

5-3 上面ベースプレート（コーナー用）の取付け

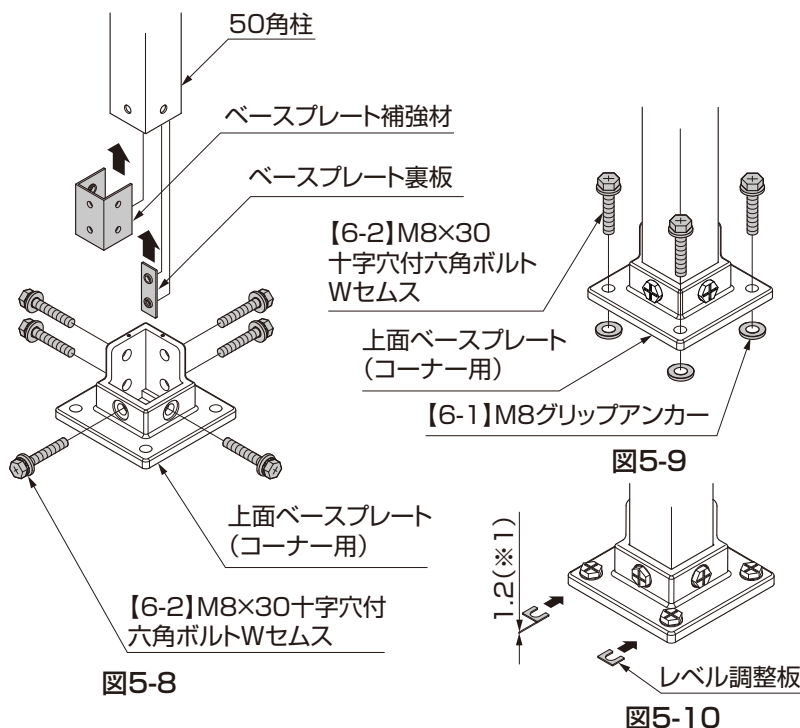


図5-8

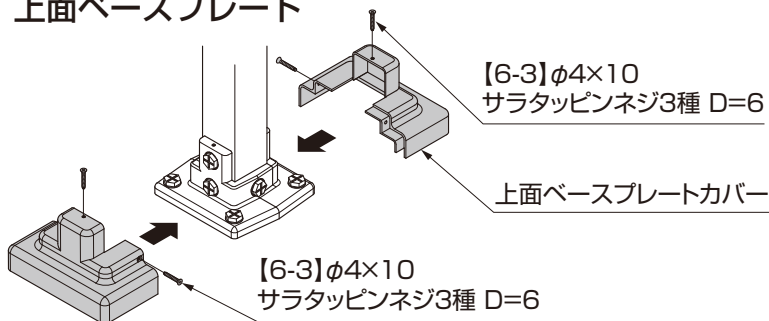
図5-9

図5-10

- ① 50角柱内部にベースプレート裏板とベースプレート補強材を差し込み、50角柱と上面ベースプレート（コーナー用）を【6-2】で取付けてください。
- ② 【6-2】で上面ベースプレート（コーナー用）を【6-1】に取付けてください。（図5-9参照）
- ③ 1.2mmのレベル調整板（※1）を上面ベースプレート（コーナー用）と【6-1】の間に挿入して、水平・垂直を出してください。（図5-10参照）

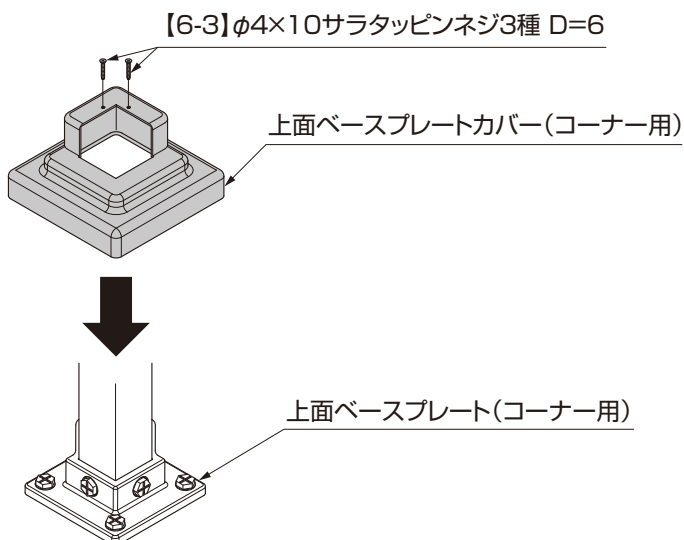
5-4 ベースプレートカバーの取付け

(1) 上面ベースプレート



- ① 上面ベースプレートに、上面ベースプレートカバーを挟むようにかがせてください。
- ② 上面ベースプレートの上面、側面部穴に、【6-3】で上面ベースプレートカバーを固定してください。

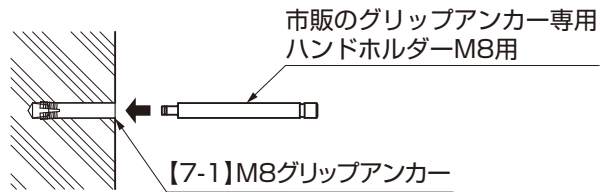
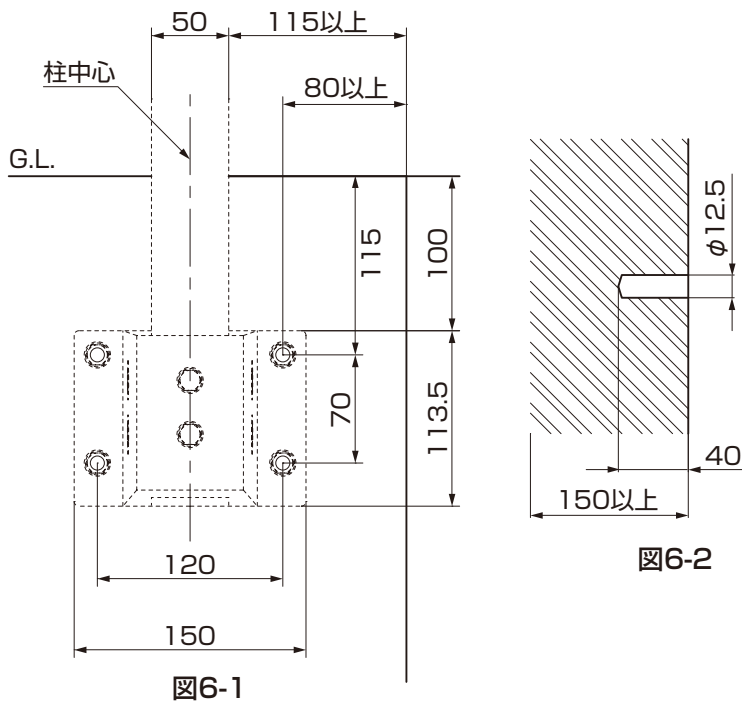
(2) 上面ベースプレート（コーナー用）



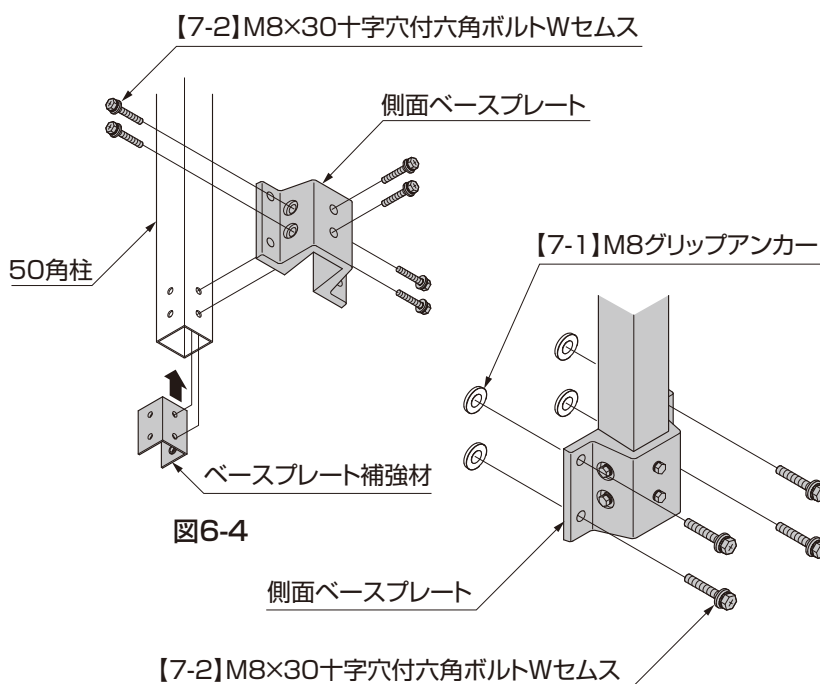
- ① 上面ベースプレート（コーナー用）に、上面ベースプレートカバー（コーナー用）をかがせてください。
- ② 上面ベースプレート（コーナー用）の上面部穴に、【6-3】で上面ベースプレートカバー（コーナー用）を固定してください。

6. 側面ベースプレート施工用柱の取付け

6-1 アンカーの打ち込み



6-2 柱の設置



⚠ 注意

- 側面ベースプレートに対応する壁面は、垂直かつ平らな状態の場所に限りま。それ以外の場合、強度不足やガタツキが生じて危険です。

- ①図6-1、図6-2を参照して、コンクリート壁面部に必要な深さの穴をあけてください。

⚠ 注意

- 下記の寸法が得られない場合には、強度不足やガタツキが生じ柱が倒れ、事故につながるおそれがあります。
- コンクリート壁面厚さが150mm以上あること、アンカーの穴がポーチの端部から80mm以上あることを確認してください。(図6-1、図6-2参照)

- ②穴内の切粉を取り除いてください。

✎ 補足

- 吸塵器またはダストポンプを使用すると切粉を容易に取り除くことができます。

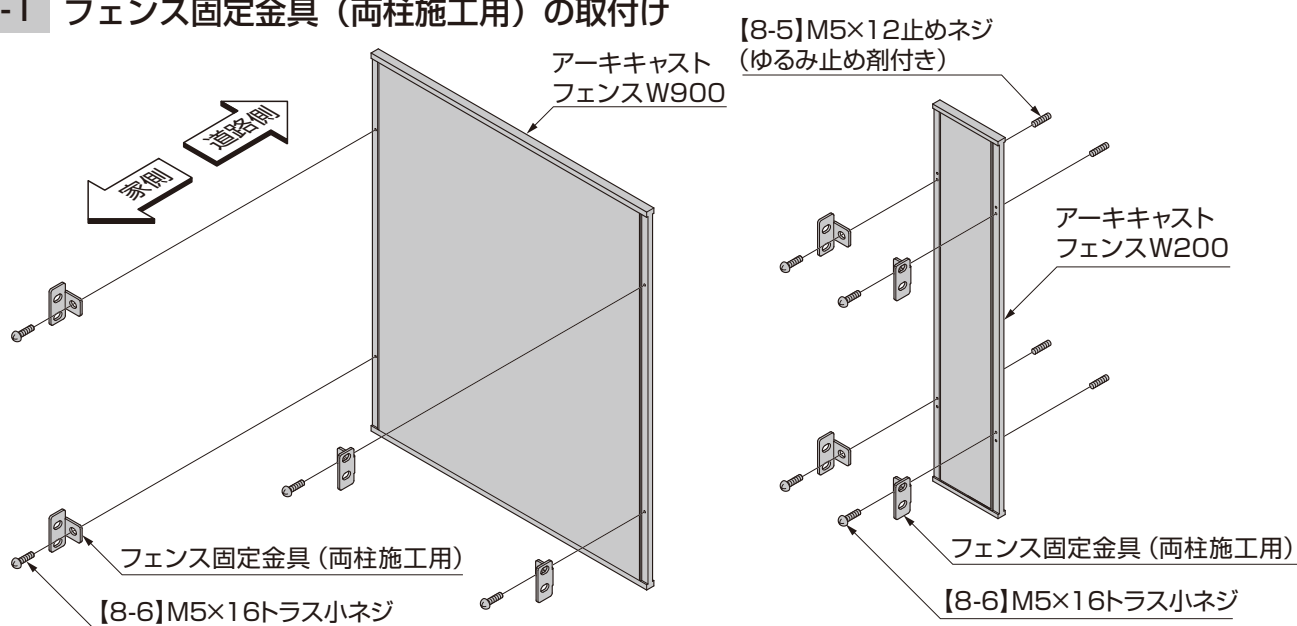
- ③【7-1】を軽く叩いて挿入し、市販のグリップアンカー専用ハンドホルダーを使用して、手ごたえが変わるまでハンマーで打ち込んでください。(図6-3参照)

- ①50角柱内部にベースプレート補強材を差し込み、50角柱と側面ベースプレートを【7-2】で固定してください。(図6-4参照)

- ②【7-2】で側面ベースプレートを【7-1】に取付けてください。(図6-5参照)

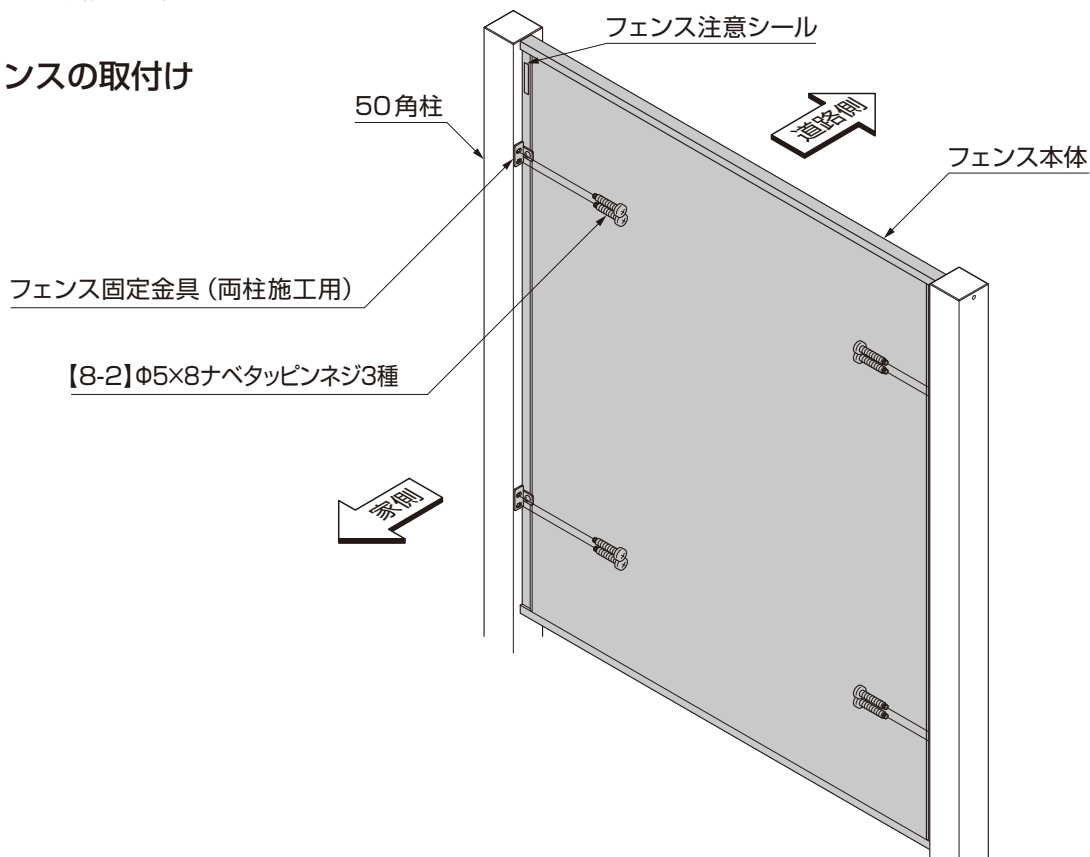
7. 両柱施工フェンスの取付け

7-1 フェンス固定金具（両柱施工用）の取付け



- ①フェンス固定金具（両柱施工用）をフェンス本体に、【8-6】で取付けてください。
- ②W200のフェンスを両柱施工する際、フェンス固定金具（両柱施工用）を取付けないフェンスの貫通穴に、【8-5】で穴をふさいでください。

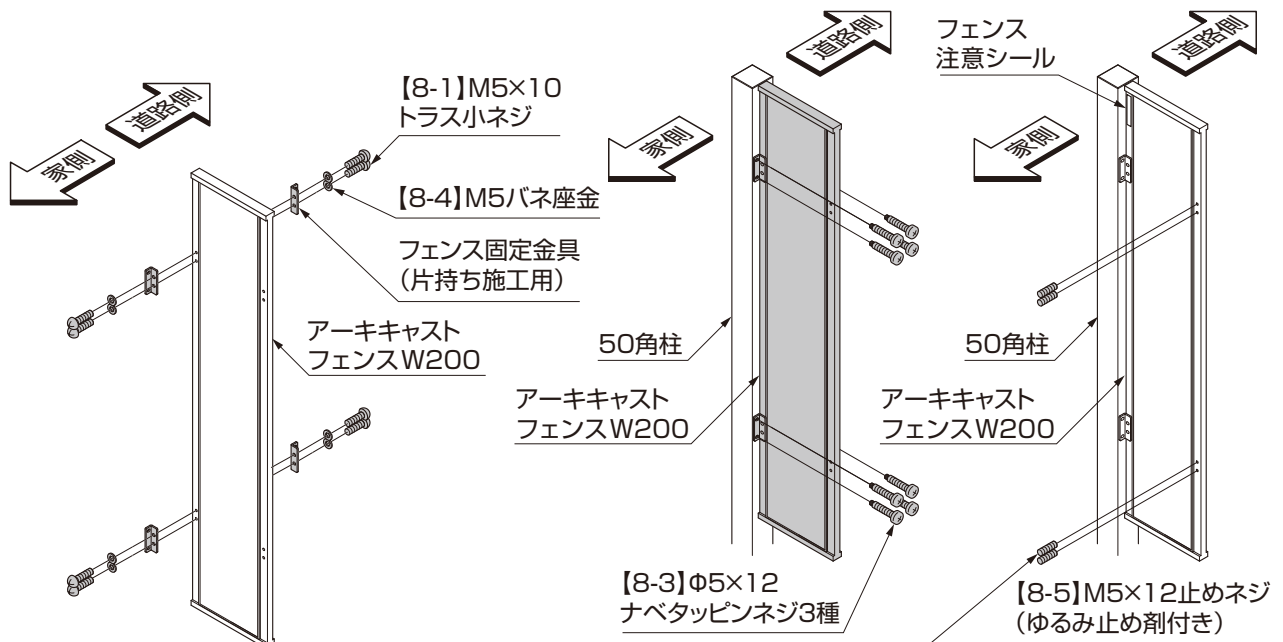
7-2 フェンスの取付け



- ①フェンス本体を50角柱に、【8-2】で取付けてください。
- ②家側に、フェンス注意シールを貼ってください。

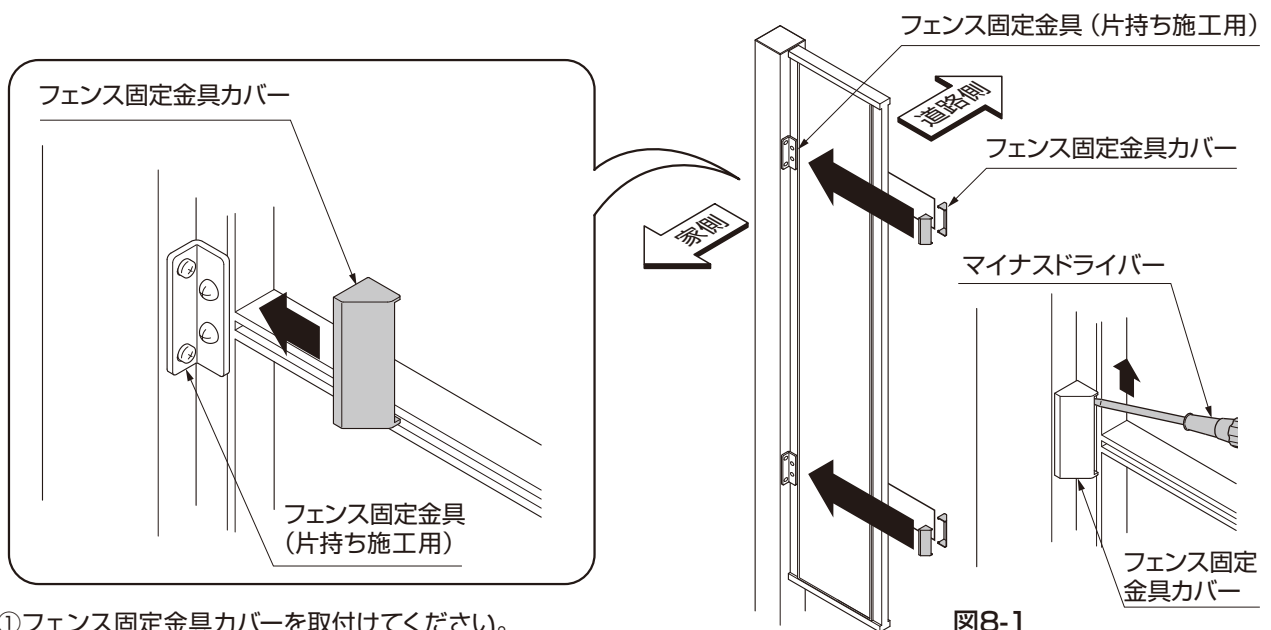
8. 片持ち施工フェンスの取付け

8-1 フェンスの取付け



- ①フェンス固定金具(片持ち施工用)を内側と外側、同じ穴にはさみこんでフェンス本体に、【8-1】【8-4】で取付けてください。
- ②フェンス本体を50角柱に、【8-3】で取付けてください。
- ③フェンス固定金具(片持ち施工用)を取付けないフェンスの貫通穴に、【8-5】で穴をふさいでください。
- ④家側にフェンス注意シールを貼ってください。

8-2 フェンス固定金具カバーの取付け



- ①フェンス固定金具カバーを取付けてください。

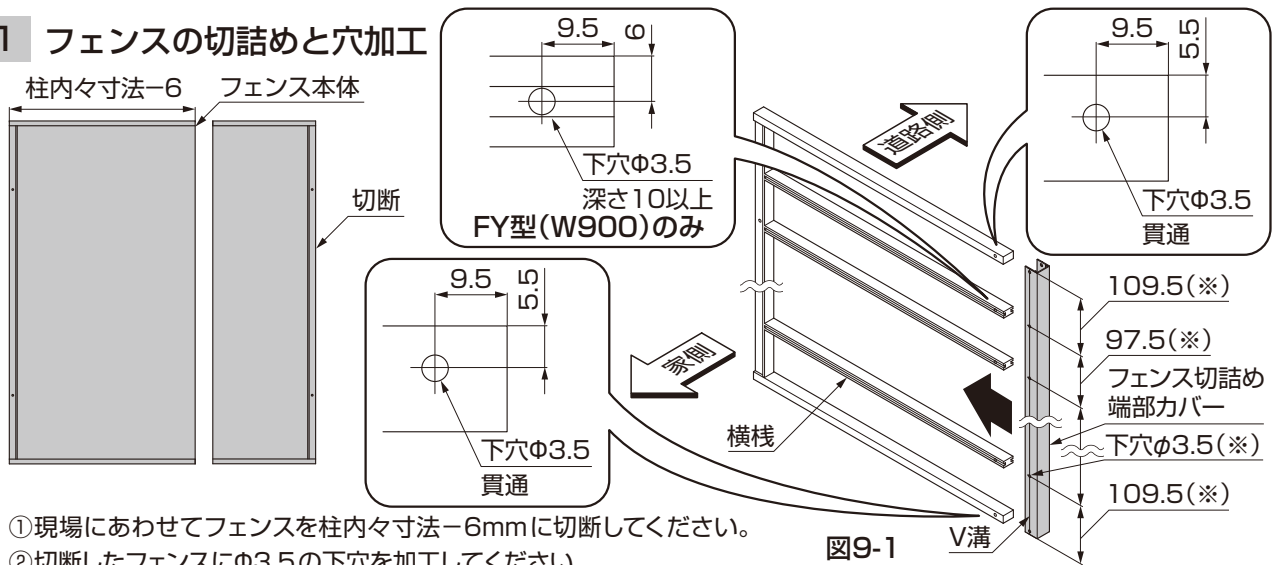
ポイント

- フェンス固定金具カバーを取外す際は、フェンス固定金具カバーのすき間にマイナスドライバーを入れて上へ押し上げて取外してください。(図8-1参照)

図8-1

9. フェンスの切断

9-1 フェンスの切詰めと穴加工



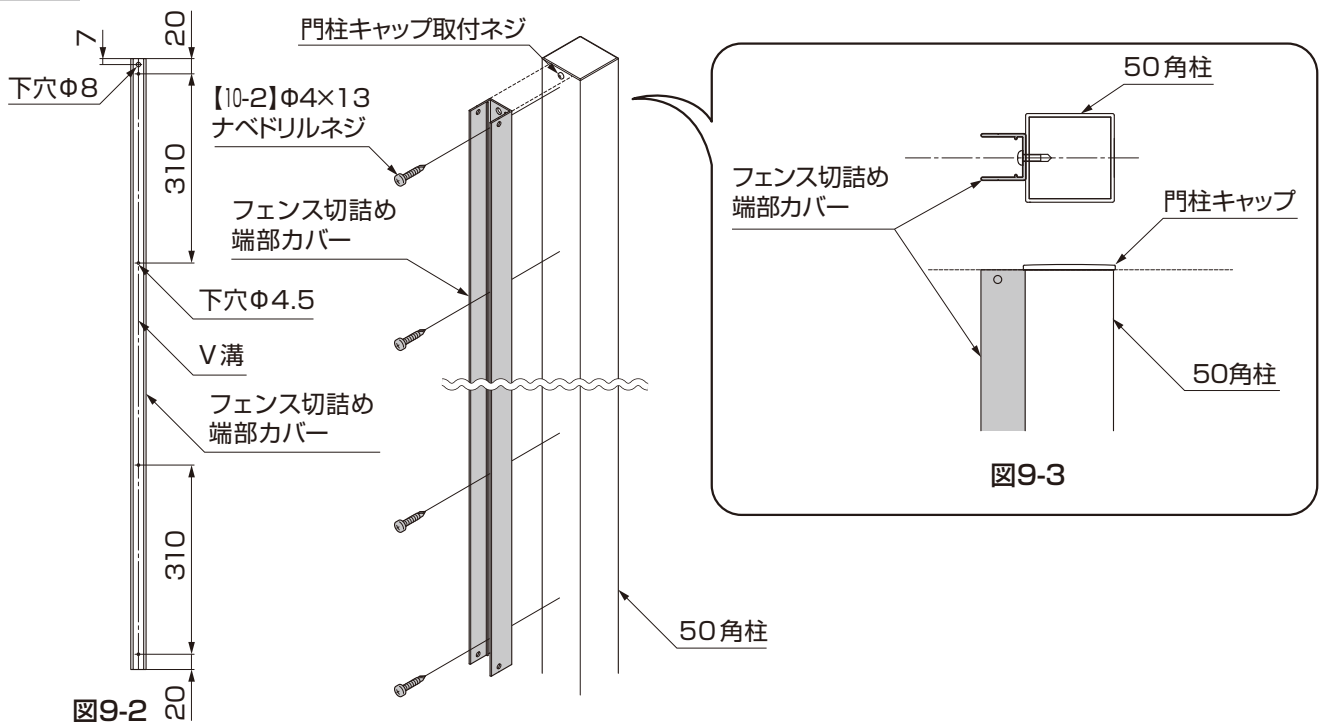
- ①現場にあわせてフェンスを柱内々寸法-6mmに切断してください。
- ②切断したフェンスにφ3.5の下穴を加工してください。

ポイント

- 切断したフェンスにフェンス切詰め端部カバーを仮組みし、加工治具にして下穴の印をつけてください。
- FY型のフェンス(W900)を切詰める時のみ、すべての横棧とフェンス切詰め端部カバーのV溝上にも家側からφ3.5の下穴をあけてください(※)(図9-1参照)

- ③フェンス固定金具 (両柱施工用)、フェンス固定金具 (片持ち施工用) をフェンスの切詰めてない側にそれぞれ「7-1」フェンス固定金具 (両柱施工用) の取付け、「8-1」フェンスの取付け」を参照し取付けてください。

9-2 50角柱への取付け (両柱施工の場合のみ)



- ①フェンス切詰め端部カバーに下穴φ4.5とφ8をあけてください。(図9-2参照)

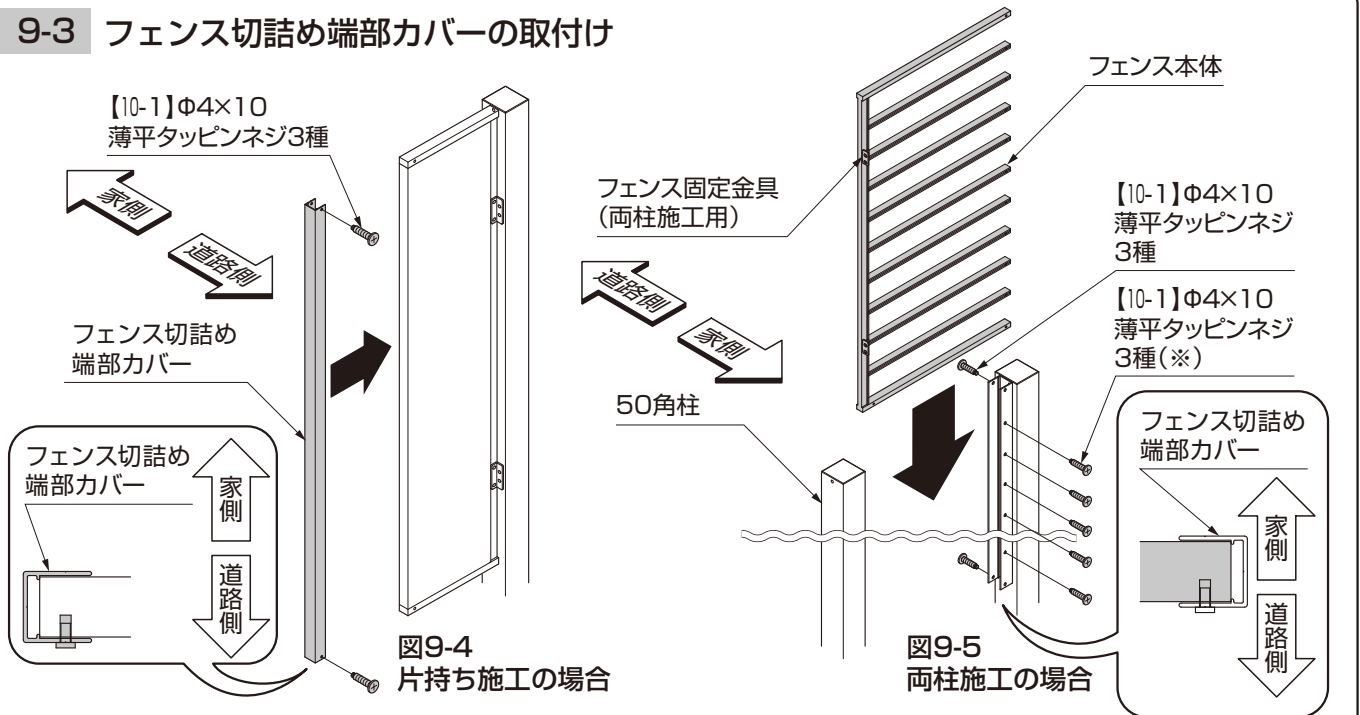
ポイント

- フェンス切詰め端部カバーは図9-3を参照し、位置をあわせて取付けてください。

- ②フェンス切詰め端部カバーを50角柱に、【10-2】で取付けてください。

9. (つづき)

9-3 フェンス切詰め端部カバーの取付け



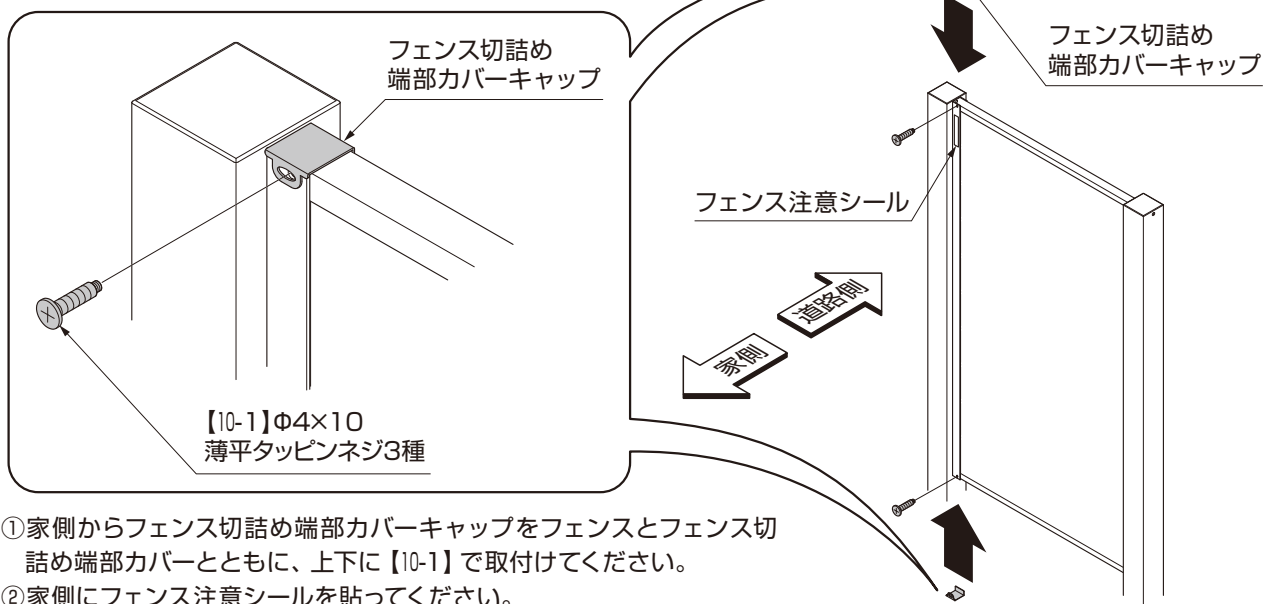
①フェンス切詰め端部カバーをフェンスに、道路側から【10-1】で取付けてください。

ポイント

- 両柱施工の際は、フェンスを上からフェンス切詰め端部カバーにスライドさせてください。(図9-5参照)
- FY型のフェンス(W900)の場合は、家側からも【10-1】で取付けてください。(※)(図9-5参照)

②切詰めたフェンスの切断されていない側を「7.両柱施工フェンスの取付け」「8.片持ち施工フェンスの取付け」を参照して50角柱に取付けてください。

9-4 フェンス切詰め端部カバーキャップ



①家側からフェンス切詰め端部カバーキャップをフェンスとフェンス切詰め端部カバーとともに、上下に【10-1】で取付けてください。

②家側にフェンス注意シールを貼ってください。

取説コード

C417

JZZ621195D
201102A_1041
201607E_1039